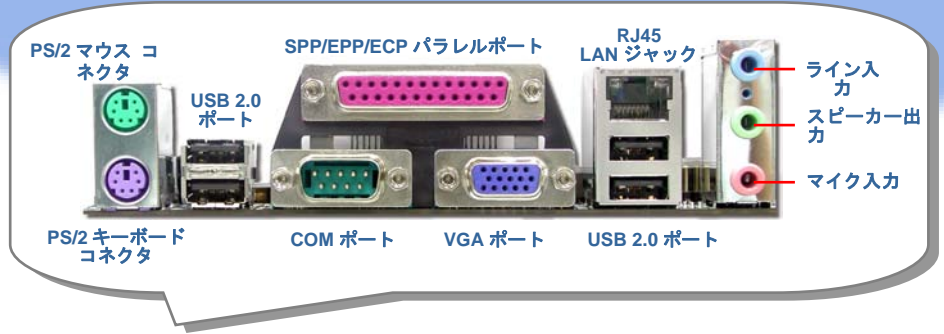
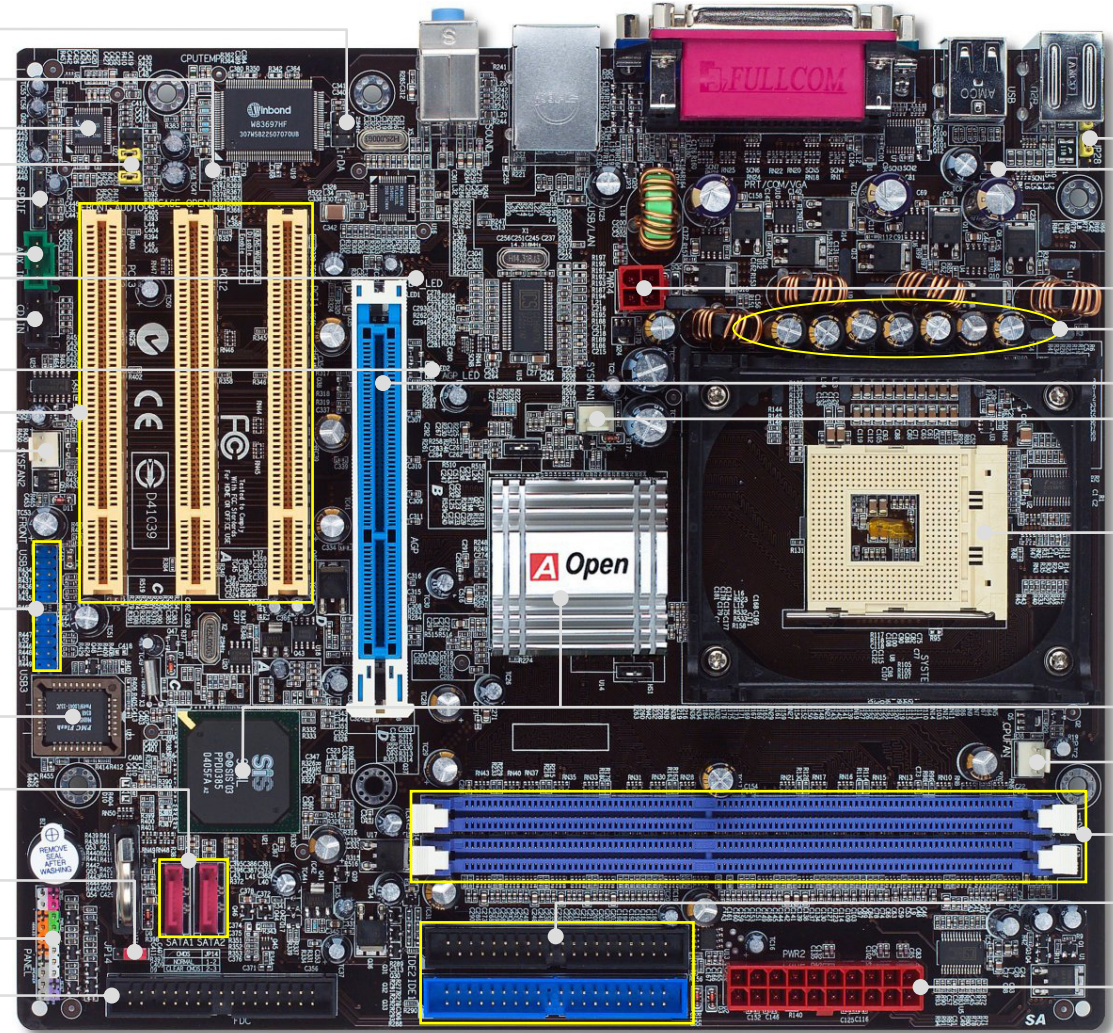


s661FXm-S / s661FXm



- IrDA コネクタ
- ケース開放センサコネクタ
- オンボード AC'97 CODEC
- フロントオーディオコネクタ
- S/PDIF コネクタ
- AUX_IN コネクタ
STBY LED
- CD_IN コネクタ
- AGP 保護 LED
- 32 ビット PCI 拡張スロット x3 個
- SYSFAN2 コネクタ
- USB 2.0 コネクタ x 2 個
- ダイハード BIOS Lite
- Serial ATA ポート x2 個で
150 MB/s の転送速度をサポート
- JP14 CMOS データクリアジャンパ
- フロントパネルコネクタ
- FDD コネクタ



- JP28 PS2 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ
- リセッタブルヒューズ
- 4 ピン 12V ATX 電源コネクタ
- 機能的ポリマーコンデンサ
- AGP 8X 拡張スロットで
8X AGP カード(2.1GB/s)サポート
- CPUFAN コネクタ
- 478 ピン CPU ソケット、電圧・クロック
自動検出機能を装備、
Intel Pentium 4 Nothwood および
Prescott CPU をサポート
- SIS® 661FX/964 (s661FXm-S) / SIS®
661FX/964L (s661FXm)チップセットは
400/533/800 MHz FSB,
DDR 400/333/266 および AGP 8X 対応
- SYSFAN1 コネクタ
- 184 ピン DIMMx2 個で DDR400/333/266
が、最大 2GB 搭載可能
- IDE コネクタ x 2 個
(ATA33/66/100/133 対応)
- ATX 電源コネクタ

AOpen は製品仕様および本出版物の記載事項について、将来予告なしに変更する権利を有します。



インストールの準備

当マザーボードをインストールするのに必要な情報は全て、このイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルがボーナスパックCDに収録されています。地球環境保護へのご協力に感謝いたします。

付属品チェックリスト

- イージーインストールガイド x 1 式
- 80 芯線 IDE ケーブル x 1 本
- フロッピードライブケーブル x 1 本
- Serial ATA 電源ケーブル x 1 本 (s661FXm-S 用)
- Serial ATA ケーブル x 1 本 (s661FXm-S 用)
- ボーナスポック CD x 1 枚
- I/O シールド x 1 式

DIYでインストール



PART NO: 49.8EM04.JE1

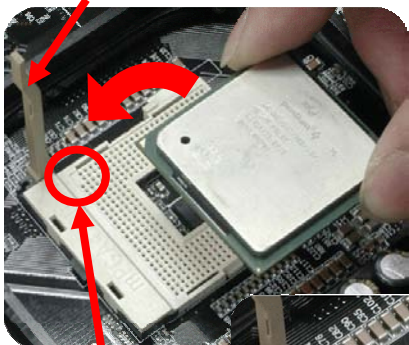
DOC. NO: S661FXMS-EG-J0406A



1. CPUのインストール

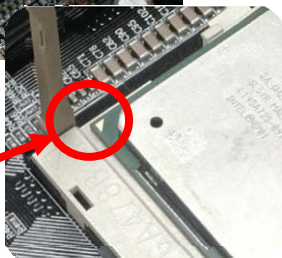
当ソケットは Intel 開発の最新 CPU パッケージである FC-PGA2 パッケージ CPU のみサポートします。その他の形式の CPU パッケージは挿せません。

CPU ソケットレバー



ソケットの1番ピン

ゴールドの矢印

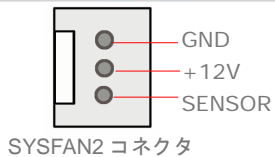
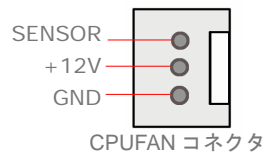
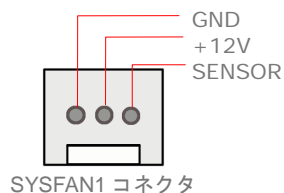
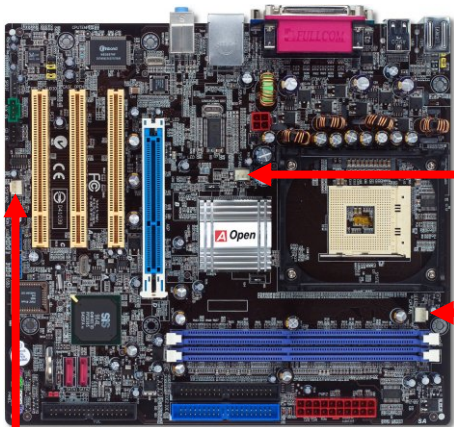


1. CPUソケットレバーを90度引き起こします。
2. ソケットの1番ピンを確かめCPU上部のゴールドの矢印を確認します。1番ピンと矢印を合わせます。これでCPUをソケットに挿します。
3. CPUソケットレバーを戻すと、CPUのインストールは完了です。

ご注意: CPUソケットの1番ピンとCPUの矢印が合っていないとCPUに損傷を与えます。

2. CPUおよびシステムのファンのインストール

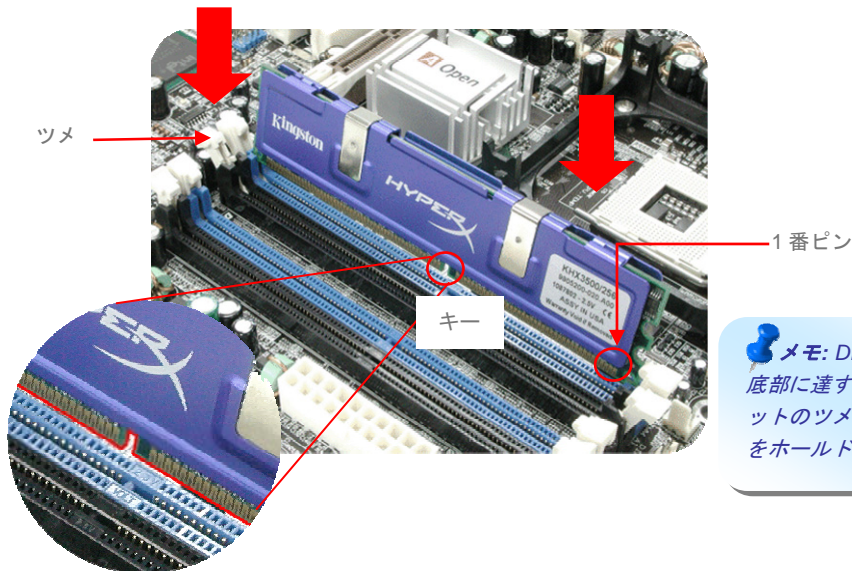
CPU ファンケーブルは、3ピンのCPUFAN コネクタに接続します。ケースファンがある場合は、これを SYSFAN1 または SYSFAN2 コネクタに接続できます。



メモ: CPU ファンによってはセンサピンのないものもあります。この場合ファンのモニター機能は使用できません。

3. メモリモジュールのインストール

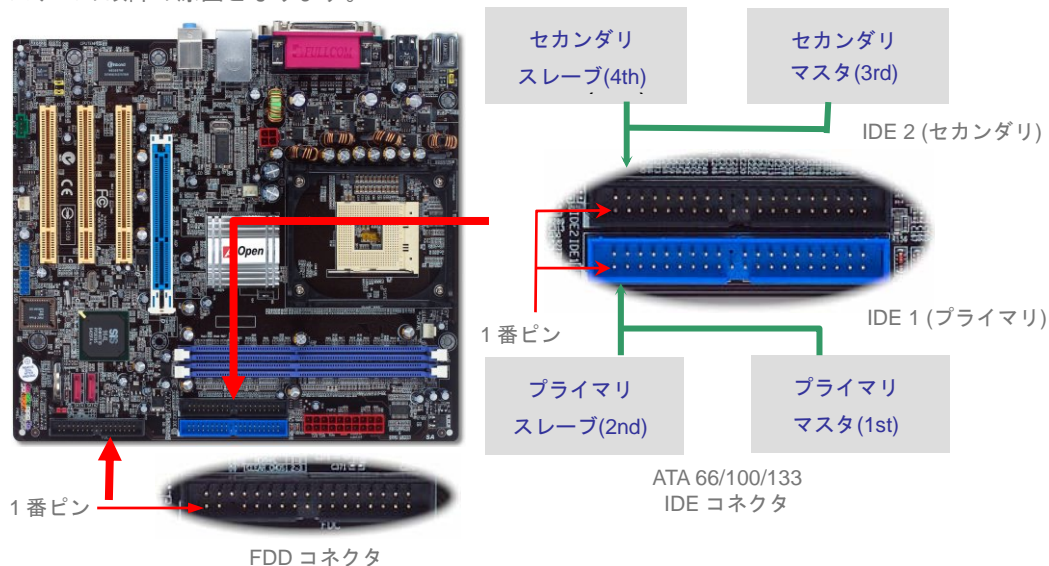
DIMM スロットはエレクトリックブルーで容易に判別できます。モジュールを両手で DIMM スロットにまっすぐ静かに、きちんと止まるまで挿します。



メモ: DIMM がスロット底部に達すると DIMM スロットのツメが起きて DIMM をホールドします。

4. IDE およびフロッピーのケーブルの接続

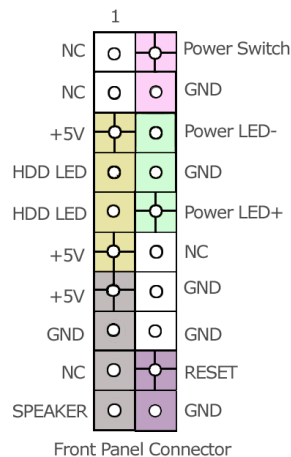
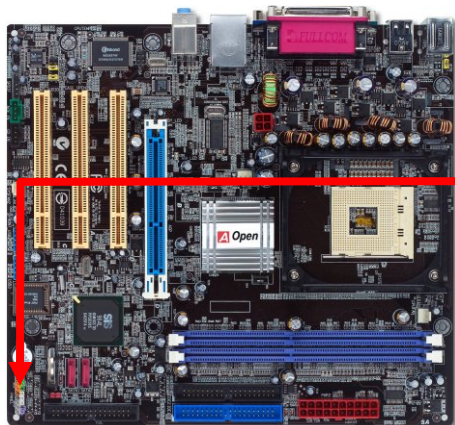
34 ピンフロッピーケーブルおよび 40 ピン, 80 芯線 IDE ケーブルをフロッピーコネクタ FDD および IDE コネクタに接続します。1 番ピンの向きにご注意ください。向きを間違えるとシステムの故障の原因となります。



5. フロントパネルケーブルの接続

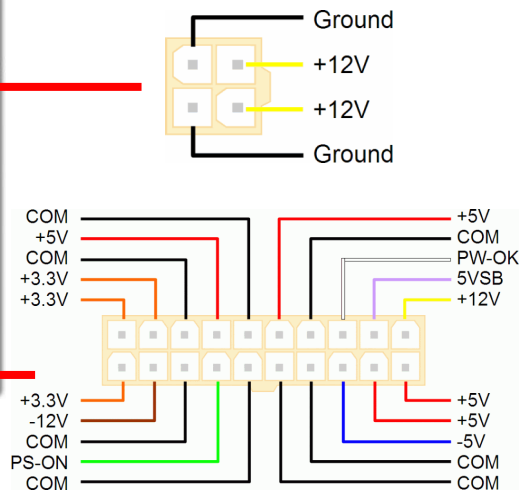
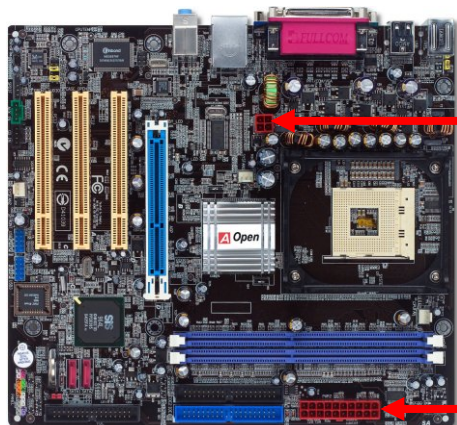
電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差し込みます。BIOS セットアップで“Suspend Mode” の項目をオンにした場合は、ACPI および電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX の筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを **SPWR** と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。



6. ATX 電源ケーブルの接続

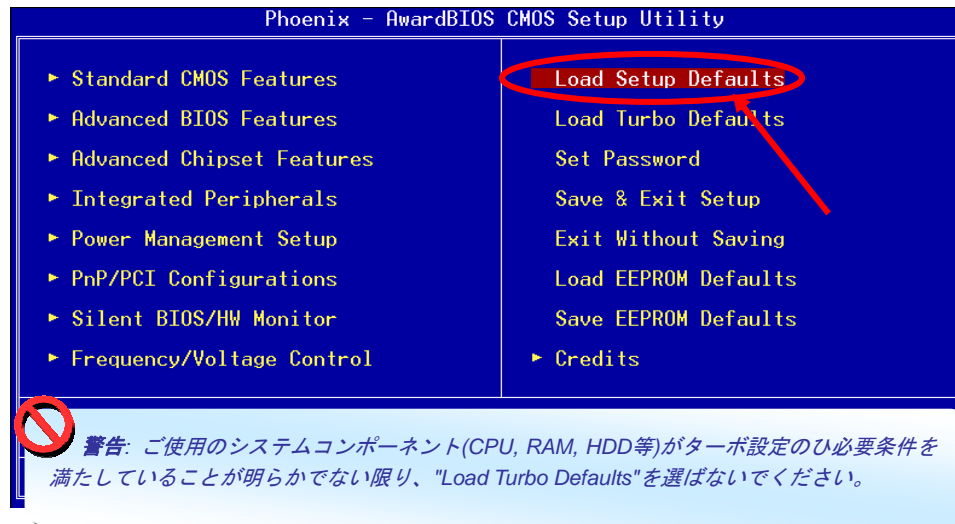
当マザーボードには下図のように 20 ピンおよび 4 ピンの ATX 電源コネクタが使用されています。挿し込む際は向きにご注意ください。20 ピン ATX 電源コネクタより先に 4 ピン 12V ATX コネクタを接続することを強くお勧めします。



7. 電源オンおよび BIOS 設定のロード

Del

ジャンプ設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中にキーを押します。“Load Setup Defaults”を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



8. AOpen ボーナスパック CD および EzInstall

ボーナス CD ディスクのオートランメニューがご使用いただけます。左側のアイコンからユーティリティやドライバを選び、“GO”ボタンを押せば、インストールは最後まで自動的に行われます。



CPU 電圧およびクロックの設定

CPU コア電圧の設定

当マザーボードは電圧 ID (VID)機能で電源オン時に CPU 電圧の自動検出が可能です。

CPU クロックの設定

当マザーボードは CPU ジャンパレス設計なので、CPU クロック設定は BIOS の 1MHz ステップ CPU オーバークロック機能から行います。CPU コアクロック=CPU FSB クロック x CPU レシオ。ただし、現在市場に流通する CPU は"倍率固定"、すなわちユーザーによる CPU レシオは調節不可能で、オーバークロックには CPU FSB クロックのみが調節可能です。

(オーバークロックはユーザーご自身のリスク管理で行ってください。)

BIOS Setup > Frequency / Voltage Control > CPU Speed Setup

CPUレシオ	8x, 10x... 24x, 25x, 26x, 27x, 28x
CPU FSB (マニュアル調節)	FSB = 100MHz-248MHz, 1MHz ステップCPU オーバークロックによる

CPU Model Name	CPUコア クロック	システム バス	L2 キャッ シ	レシ オ
Pentium 4 2.4AG	2400MHz	533MHz	1MB	18x
Pentium 4 2.8AG	2800MHz	533MHz	1MB	21x
Pentium 4 2.8BG	2800MHz	533MHz	512KB	21x
Pentium 4 2.8CG	2800MHz	800MHz	512KB	14x
Pentium 4 2.8EG	2800MHz	800MHz	1MB	14x
Pentium 4 3.0CG	3000MHz	800MHz	512KB	15x
Pentium 4 3.0EG	3000MHz	800MHz	1MB	15x
Pentium 4 3.06BG	3066MHz	533MHz	512KB	23x
Pentium 4 3.2CG	3200MHz	800MHz	512KB	16x
Pentium 4 3.2EG	3200MHz	800MHz	1MB	16x
Pentium 4 3.4CG	3400MHz	800MHz	512KB	17x
Pentium 4 3.4EG	3400MHz	800MHz	1MB	17x
Celeron 325	2533MHz	533MHz	256KB	19x
Celeron 330	2666MHz	533MHz	256KB	20x
Celeron 335	2800MHz	533MHz	256KB	21x
Celeron 340	2933MHz	533MHz	256KB	22x
Celeron 345	3066MHz	533MHz	256KB	23x

メモ: CPUクロックはたびたび変更されています。当インストールガイドを入手された時点でも、より高速のCPUが市場に出回っているかもしれません。この一覧表はユーザー皆様の参照用です。

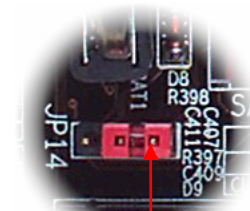
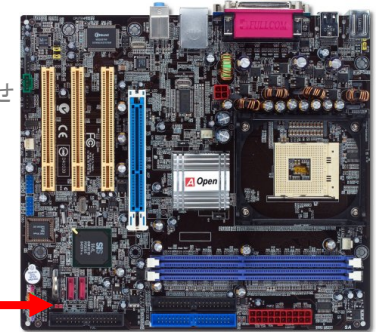
メモ: SIS 661FX チップセットは Intel P4 Northwood および Prescott CPU をサポートしています。Northwood および Prescott CPU はクロックレシオを自動検出するのでクロックレシオのマニュアル設定は不可能です。

警告: SIS 661FX チップセットは最大 800MHz (200MHz*4) のシステムバスおよび 66MHz AGP クロックをサポートしています。より高速の設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

JP14 による CMOS のクリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

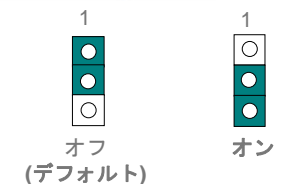
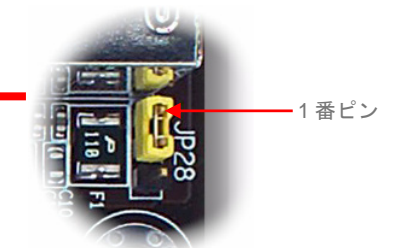
1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に挿します。



- ヒント: CMOS クリアが必要な場合は?
1. オーバークロック時の起動失敗...
 2. パスワードを忘れた...
 3. トラブルシューティング...

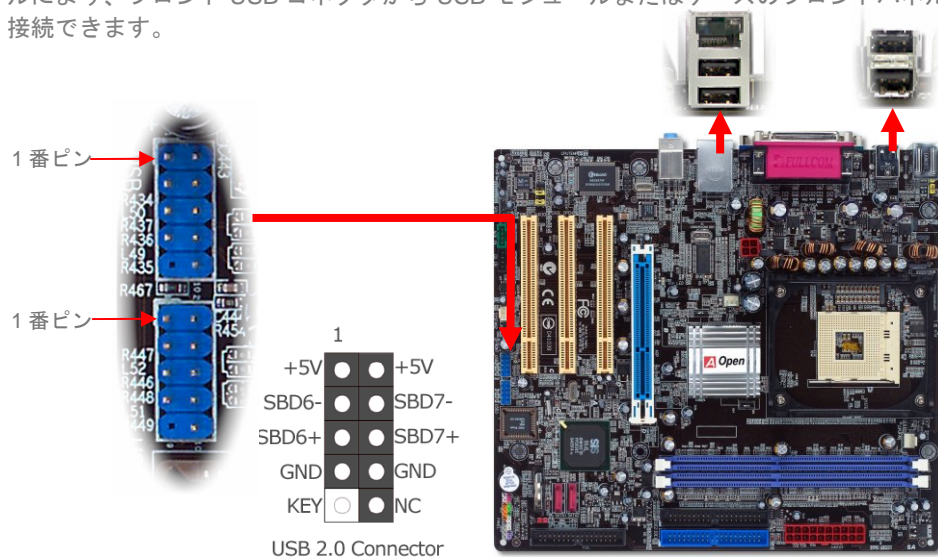
JP28 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ

当マザーボードには PS2 キーボード/マウスウェイクアップ機能が装備されています。接続されている USB キーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームする機能のオン/オフには JP28 を使用します。工場デフォルト設定は"オフ"(1-2)ですが、ジャンパ位置を 2-3 にすることで、この機能がオンになります。



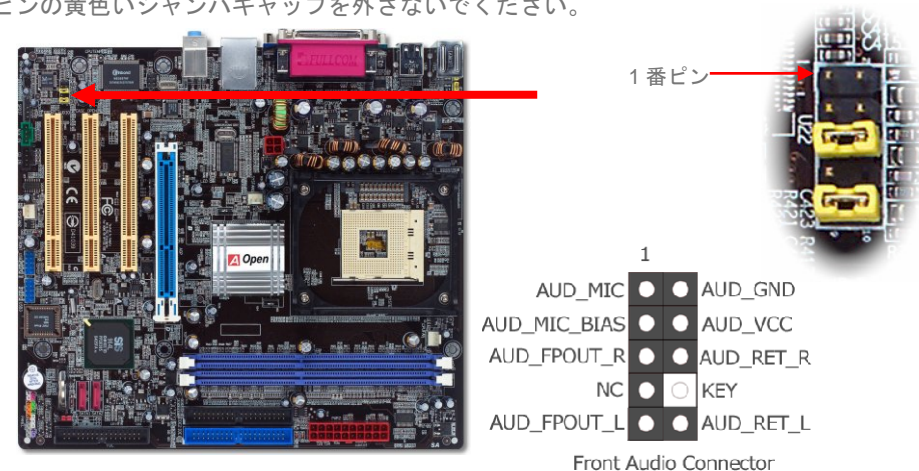
USB 2.0 コネクタ

当マザーボードは 8 個の USB 2.0 ポートを装備し、マウス、キーボード、モデム、プリンタなどの USB 機器が接続できます。後部パネルに 4 個のポートがあります。適当なケーブルにより、フロント USB コネクタから USB モジュールまたはケースのフロントパネルに接続できます。



フロントオーディオコネクタ

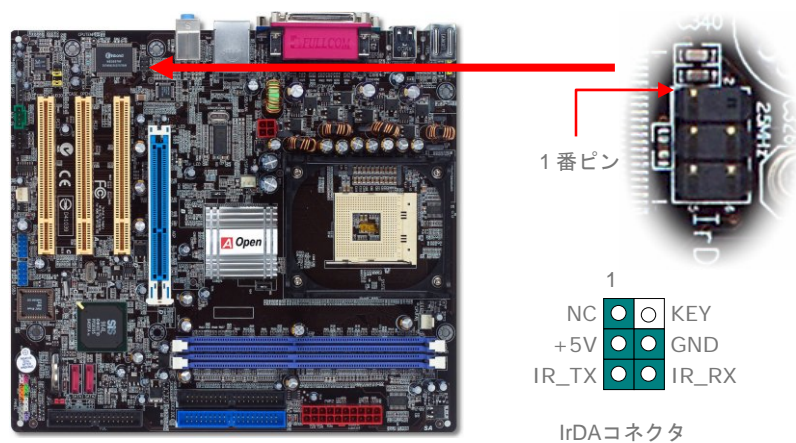
筐体のフロントパネルにオーディオポートが装備されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタから 5-6 番ピンおよび 9-10 番ピンのジャンパキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は、5-6 番ピンおよび 9-10 番ピンの黄色いジャンパキャップを外さないでください。



IRDA コネクタ

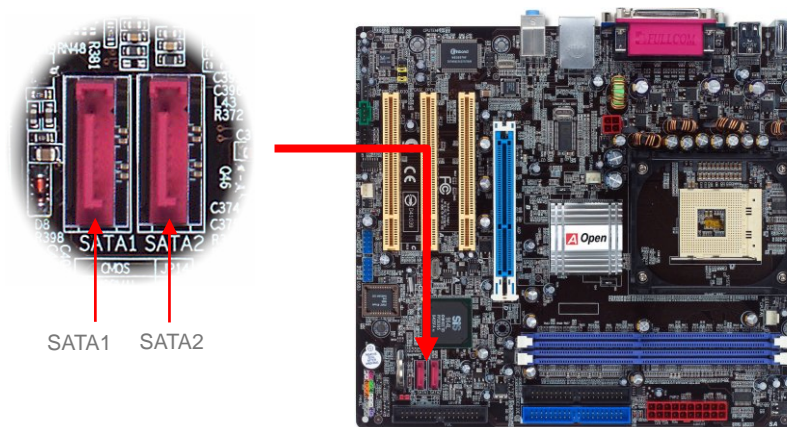
IrDA コネクタは、ワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows のケーブル接続などのアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2 m 以内) と ASK-IR (56Kbps) の双方をサポートしています。

この機能を初めて使用する場合、IrDA コネクタに赤外線モジュールを接続し、BIOS セットアップの UART Mode データ正しく設定します。IrDA モジュールを挿す場合は方向にご注意ください。



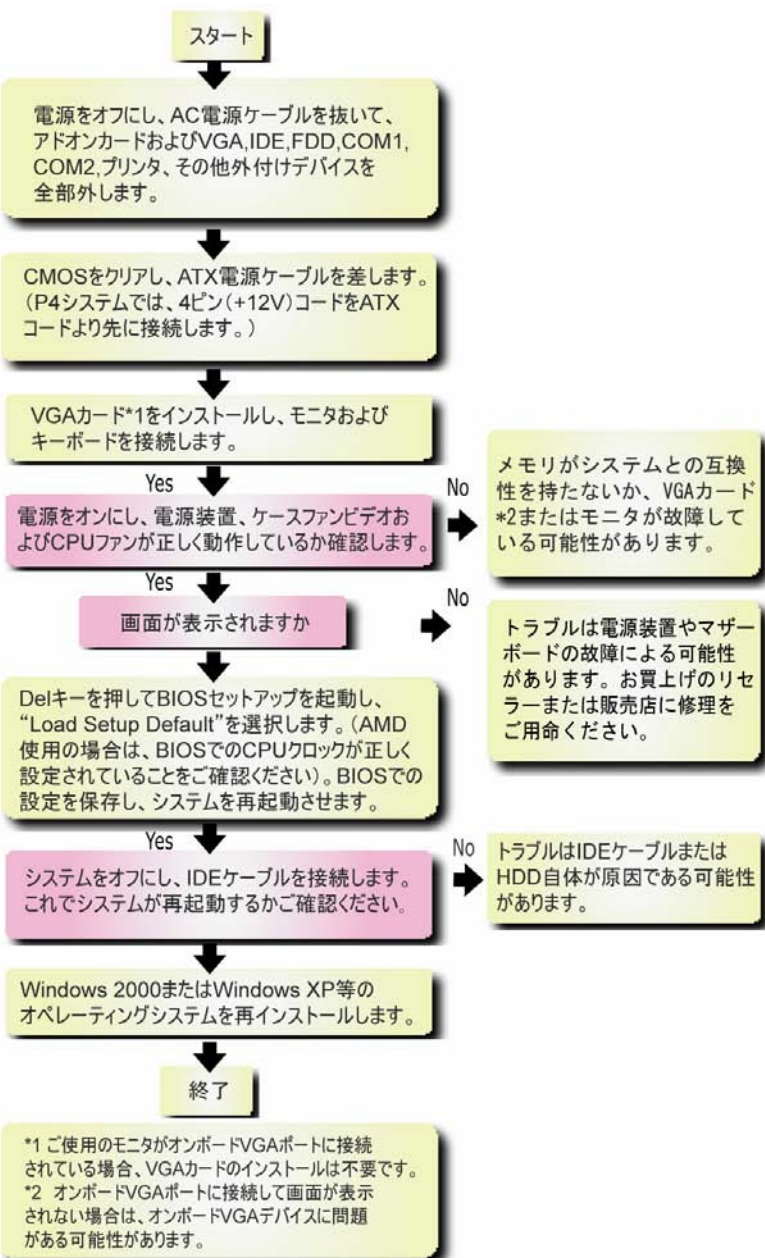
Serial ATA コネクタ

Serial ATA ディスクを接続するには、7 ピン Serial ATA ケーブルが必要です。Serial ATA ケーブルでマザーボードの Serial ATA ヘッドとディスクをつなぎます。従来のディスクと同様、電源ケーブルも接続する必要があります。ここでジャンパ設定は不要であることにご注意ください。ディスクをマスタやスレーブにジャンパ設定する必要はありません。Serial ATA ハードディスクを Serial ATA ポートにインストールする際は、ポート 0 (SATA1) にインストールされたディスクが自動的に起動用ディスクに設定されます。ここでホットプラグ機能はサポートされていない点にご注意ください。



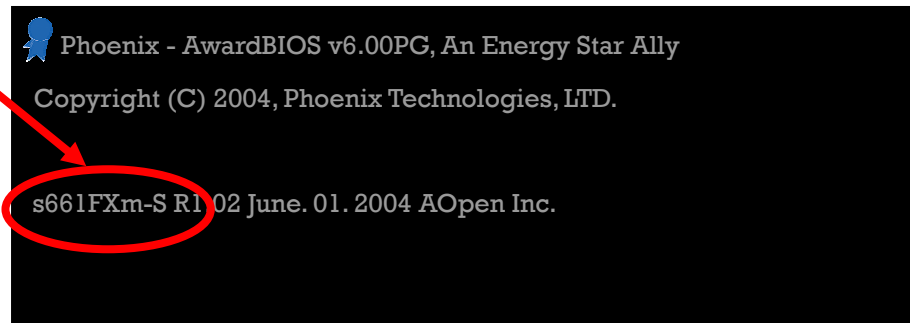
トラブルシューティング

システム起動時にトラブルが生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



型式名およびBIOSバージョン

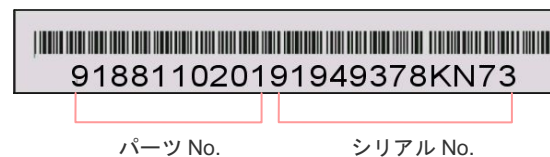
型式名およびBIOSバージョンは最初の起動画面(POST画面)の左上に表示されます。以下が一例です。



s661FXm-Sはマザーボードの形式名で、R1.02がBIOSバージョンです。

お買上げのマザーボードの登録

AOpen 製品をお買上げいただき、ありがとうございます。お買上げのマザーボードは <http://club.aopen.com.tw/productreg/> から登録いただきますと、Club AOpen の会員となり、AOpen からの質の高いサービスが優先的にご利用いただけます。また、スロットマシニングゲームに参加して AOpen からの景品獲得もできます。登録の際には下記の情報をご用意ください。**形式名、パーツ番号(P/N)、シリアル番号(S/N) およびお買上げ日。** パーツ番号およびシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。バーコードはパッケージ外側または PCB のコンポーネント側に付いています。以下が一例です。



P/N: 91.88110.201 はパーツ番号で、S/N: 91949378KN73 はシリアル番号です。

Phoenix-Award BIOS エラーメッセージ

ビープ音	メッセージ
1 短音(ビープ)	システム起動は正常です
1 長音 - 1 短音(ビープ)	DRAM のエラー
1 長音-2 短音(ビープ)	ディスプレイカードまたは接続されたモニタのエラー
1 長音-3 短音(ビープ)	キーボードのエラー
長音(ビープ)の連続	DRAM が正しくインストールされていません



テクニカル サポート

ユーザーの皆様へ

AOpen 製品をお買上げいただき、ありがとうございます。製品を <http://www.aopen.com> で登録されると、Club AOpen のゴールドメンバーとなり、以後の質の高いサービスをご利用いただけます。ユーザーの皆様には質の高いサービスを継続的に提供するため以下の手順をご参考になり、お買上げ地域にある当社の支社からのサポートをお受けください。ユーザー皆様のご協力により、効率的かつ最良のサービスが皆様に引き続きご利用いただけます。

ご協力に感謝いたします。

AOpen テクニカルサポートチーム

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516 Email:
Support@AOpen.NL

中国

艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622 Fax:
86-21-6225-7926

米国

AOpen America Inc.
Tel: 1-510-489-8928
Fax: 1-510-489-1998

ドイツ

AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2131-1243-710
Fax: 49-2131-1243-999

太平洋地区

AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

日本

AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ヨーロッパ	Eメール: Support@AOpen.NL
太平洋地区	http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm
中国	http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm
ドイツ	http://www.aopencom.de/tech/default.htm
米国	http://usa.aopen.com/tech/default.htm
日本	http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm

オンラインマニュアル：マニュアルをダウンロードするには、まずログオンに必要な言語を指定します。“Type”のディレクトリから“Manuals”を選んで、マニュアルデータベースにアクセスします。マニュアルおよびイーザーインストールガイドはAOpenボーナスパックCDにも収録されています。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

テストレポート：PC組立てには、互換性テストレポートからboard/card/deviceの部分をご覧になることをお勧めします。これで互換性に関するトラブルを解決できるかもしれません。

<http://aopen.jp/tech/report/index.htm>

FAQ：ユーザーがよく直面する問題やFAQ（よく尋ねられる質問）が列挙されています。ログオンに必要な言語を指定してから問題の解決方法を見てください。

<http://aopen.jp/tech/faq/index.htm>

ソフトウェアのダウンロード：ログオンして必要な言語を指定した後、“Type”のディレクトリからアップデートされた最新のBIOSまたはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。大半の場合、最近のバージョンのドライバやBIOSにより、バグや互換性の問題が解決されます。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

eForum：AOpen eForumは当社製品に関して他のユーザーと討論する場所で、ユーザーの問題が以前に取り上げられたか以後答えを得られる可能性があります。ログオンしてから“Multi-language”で必要な言語を指定します。

<http://club.aopen.com.tw/forum/>

当社へのご連絡：ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOSバージョンも大変参考になります。

販売店、リセラーへのご連絡：当社は製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定に関して熟知しており、お持ちの問題の解決方法または重要な参考情報が提供される可能性があります。